

# みずほ不動産投資顧問の フィデューシャリー・デューティーに関する取り組み

---

2018.6.29

みずほ不動産投資顧問株式会社



## 〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティー（FD） ※

※他社の信託に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広い様々な役割・責任の総称

- 〈みずほ〉は、お客さまの利益に真に適う商品・サービスを提供し、中長期的なパートナーとして、最も信頼されるグループであり続けるため、資産運用関連業務におけるグループ全体の方針として「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」を策定・公表しています。

「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」

<https://www.mizuho-fg.co.jp/company/policy/fiduciary/index.html>

- 当社は、〈みずほ〉の一員として、資産運用関連業務に関するFDの実践に向けた対応を強化する観点から、「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」を採択するとともに、当該取組方針の実践に向けた当社のアクションプランを策定・公表しております。
- この度、2017年度の主な取組状況および2018年度のアクションプランを公表いたします。

## 2017年度の主な取組状況

# 運用・商品開発機能におけるFD実践

## 2017年度 の主な 取組状況

### ■ 運用の高度化

高い付加価値を提供し続けるため、プロフェッショナルな人材の採用を継続的に実施しております。2017年度においても、人材の採用による人材基盤の拡充を行っております。

- お客さまへの高付加価値の提供・運用の高度化のため、みずほリアルティOneグループ※においては人材・運用基盤の強化に取り組んでおり、その一環として、業務運営に有用かつ高度な資格を持つプロフェッショナルな人材の採用や、従業員に対する教育・資格取得支援などを進めております。

※みずほリアルティOneグループとは、当社、みずほリアルティOne株式会社および同社の子会社であるみずほリートマネジメント株式会社を指します。

適正な業務運営の実践のため、業務マニュアル等の継続的な見直しに努めております。

### グループ人材における主な有資格者数 (2018年3月末現在)

資格名	人数
宅地建物取引士	43名
不動産証券化マスター	19名
一級建築士	8名

※当社およびみずほリートマネジメント株式会社の運営においては、両社の親会社であるみずほリアルティOne株式会社の経営資源等の活用を前提としており、みずほリアルティOneグループ全社で従事する役職員（出向受入を含む）66名のうちの有資格者数を表示しております。

# 運用・商品開発機能におけるFD実践・お客様の支持・評価

## 2017年度 の主な 取組状況

### ■ 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取組み

運用対象となる資産の特性を踏まえ、環境の変化や投資家のみなさまのニーズを捉えた新規ファンドの組成に向けた取組みの進捗のほか、投資家のニーズに合わせた資産売却活動を実施しております。

### ■ お客様の立場に立った情報提供やサービスの充実

外部委員を含む投資政策委員会で承認された投資プランに基づく運用を実施しており、投資家のニーズに合わせた情報提供を継続的に実施しております。

### ■ ガバナンス強化

コンプライアンス委員会や投資政策委員会等、投資判断の意思決定にあたっては、当社と利害関係のない第三者である外部専門家の意見も踏まえ、審議を行っております。また、利益相反管理のためのルールとして、「利益相反管理方針の概要」を制定・公表したほか、「金融商品勧誘方針」の改定を行い、当該規程類に則った管理運営を継続しております。

### ■ お客様の支持・評価

当社は、国内外の投資家に対する不動産投資顧問事業を行う資産運用会社として、様々な投資シナリオやアセットタイプに最適な運用体制を構築し、投資のパフォーマンスを最大化させるためのサービス提供を心掛けております。

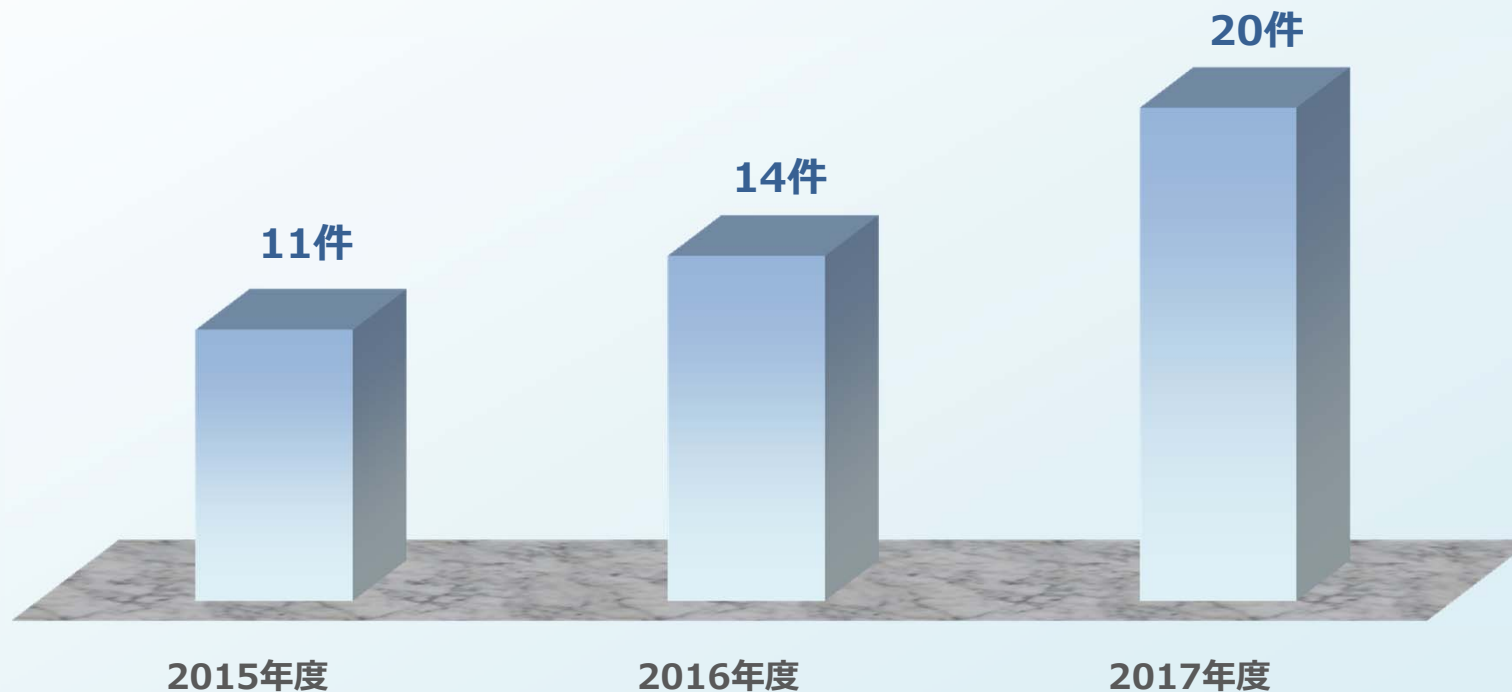
賃料改定やリーシングなどの内部成長やリニューアル工事等による資産価値向上、出口戦略の策定といった多様なノウハウを蓄積しており、2007年の設立以来、数多くの国内外投資家のみなさまからご支持をいただき、案件を受託しております。

## 運用・商品開発機能における成果

お客様のニーズに応えるため資産運用会社として、新たに私募ファンドを組成する（新規組成）と共に、既存のお客様のご意向に沿った資産売却を実行すること（イグジット）が、お客様の利益に適う資産運用会社としての成果と考えることから、「ファンドアクション件数」（新規組成件数+イグジット件数）をKPIとしました。

2017年度においては、新規案件の組成に加え、市場の動向を踏まえてお客様のご意向に沿った資産売却等の活動の結果、20件の実績がありました。

ファンドアクション件数



## 2018年度の主な取組計画

# 運用・商品開発機能における2018年度アクションプラン

## 1. 運用の高度化

- 投資家のみなさまに高い付加価値を提供し続けるため、継続的な人材基盤の拡充に努めます。
- 投資家のみなさまに高い付加価値を提供し続けるため、適正な業務運営の実践に邁進します。

## 2. 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取り組み

- 投資環境の変化や投資家のみなさまのニーズに的確に応えるため、社外のネットワーク等も活用し、質の高いサービスの提供に努めます。

## 3. お客さまの立場に立った情報提供やサービスの充実

- 投資家のみなさまに最適な投資プランの提案と適切な情報提供を行います。

## 4. ガバナンス強化

- 投資判断に係る意思決定はコンプライアンス部門のチェック、外部専門家を含めた委員会等の体制を整え、投資家のみなさまの利益を損なうことがないよう適切な手続きにより行います。



# グループ管理方針における2018年度アクションプラン

## 1. ガバナンス

- 利害関係者取引における利益相反対策を含め、投資家の利益保護の観点から適切な条件で運用を行います。
- 「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーの実践に向けた取組方針」に基づき策定されたアクションプランについて、コンプライアンス部門はその遵守状況を取締役会等に定期的に報告いたします。

## 2. 業績評価

- 当社職員の業績評価は、投資家のみなさまへの付加価値の提供に資するかどうかという観点から適正な体系に基づき行います。

## 3. 報酬等の合理性

- 投資家のみなさまに提供するサービスの内容に応じた報酬を設定します。

## 4. 利益相反管理

- 利益相反管理については、ルールを策定し、その手続きに則って運営します。

## 5. 企業文化の定着

- 研修の実施を通じて、全ての役職員と社員がフィデューシャリー・デューティーの意識を共有し、実践を行う企業文化を定着させてまいります。

## 〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティに関する取組み

# 目指す姿 ～お客さまと〈みずほ〉の共通価値の創造～

- 〈みずほ〉は、FDの実践を通じ、お客さまの中長期的な金融資産の増大を実現し、お客さまの高い満足と信頼を獲得することを目指します。
- 同時に、お客さまの満足・信頼の表れとして、お取引基盤の拡大やブランドが構築されることで、〈みずほ〉の中長期的な成長にも繋がるという「お客さまと〈みずほ〉の共通価値の創造」を目指します。



# 定量指標 (KPI)

- 〈みずほ〉は、「お客さまと〈みずほ〉の共通価値の創造」の実現に向け、FDの定着状況を確認するための定量指標 (KPI) を設定しております。

取組方針		①FD実践	②お客さま等の支持・評価	③成果
グループ管理方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金融教育の受講者数</li> </ul>		
機能ごとの対応方針	販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資格保有者数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ お客さま満足度調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 投資運用商品の預り資産残高                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新たにお取引を開始したお客さまの預り資産増加額</li> </ul> </li> <li>■ 投資運用商品保有者数                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 資産形成層向け商品保有者数</li> </ul> </li> </ul>
	運用・商品開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクツ開発・改善件数</li> <li>■ エンゲージメント活動先社数</li> <li>■ セミナー参加者数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ファンドアワード件数</li> <li>■ 投信会社満足度調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年金信託残高</li> <li>■ 公募・私募投信残高</li> <li>■ DC専用ファンド・資産形成型ファンド残高</li> </ul>
	資産管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事務サービス品質改善件数</li> <li>■ 研修件数</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公募投信新規受託残高</li> <li>■ 預り資産残高</li> </ul>